

政策評価調書(5年度実績)

政策名	女性が輝く社会づくりの推進	政策コード	Ⅱ-7	関係部局名	生活環境部、福祉保健部、商工観光労働部、土木建築部、教育庁
-----	---------------	-------	-----	-------	-------------------------------

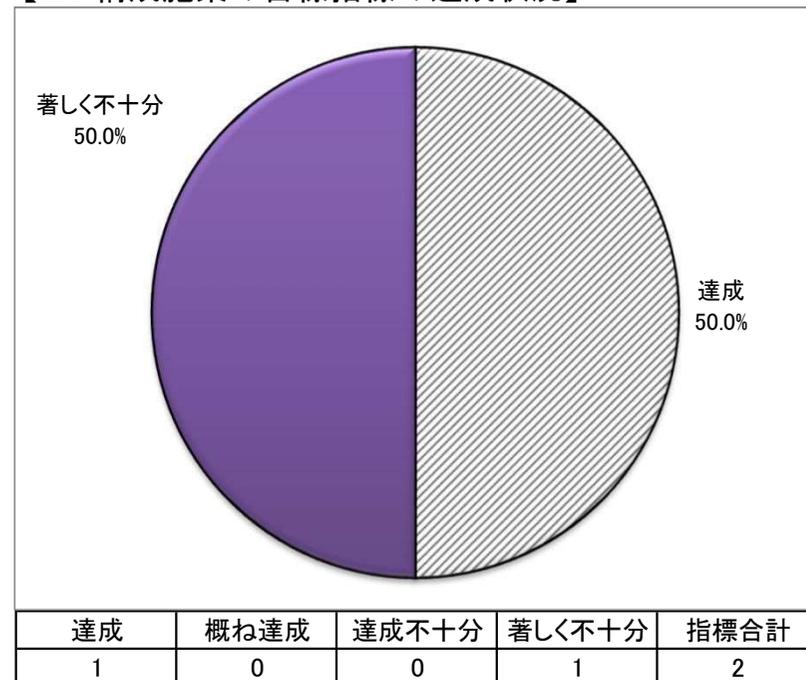
【Ⅰ. 政策の概要】

働く場をはじめ、あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、固定的な性別役割分担意識など、女性が感じる生きづらさを解消し、男女がともに責任を分かち合う環境づくりを進めるとともに、安心して子どもを産み育てながら働けるよう、官民が連携して柔軟な働き方の導入や職場環境の整備などを行い、すべての女性が輝き活躍できる社会を目指す。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築	概ね達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

これまで女性が輝く大分県づくりを進めてきた結果、内閣府の「女性のチャレンジ賞」では6年連続で県関係者が受賞するなど、様々な分野で女性が活躍する場面が増えてきた。こうした成果の一方で、県内企業における女性の管理職割合は13.4%にとどまるなど、男女共同参画社会の実現には、まだまだ道半ばとなっている。H27年度から取り組んできた女性活躍推進宣言企業は、R5年度までで332社と着実に増加し、女性の活躍推進に係る意識の醸成にはつながってきたものの、各企業における取組には温度差があり、R5年度に創設した認証制度の周知徹底や認証取得に向けた企業の伴走型支援など、さらなる取組の強化が必要である。

また、現場の女性からは、管理職に求められるスキルや経営に関する知識を習得できる実践的な研修を求める声があるほか、女性の継続就労が可能となる働き方の導入や働きやすい職場環境の整備、再就職を希望する女性への支援も求められている。

こうした課題の背景には、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が根強く存在していることから、その解消に向けた取組も推進する。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
雇用者のうち管理的職業従事者に占める女性の割合(%)	71.3%
<著しく不十分となった理由> 「女性活躍応援県」として県独自の企業認証に取り組んだほか、事業所へのコンサルタント派遣等により、女性の人材育成や登用を支援したが、「家庭との両立の難しさ」が一番の障壁となり、目標値を達成できなかった。 「家事や育児は女性がするもの」といったアンコンシャス・バイアスの解消に向け、R6年度は、企業や家庭向けに動画等を活用した啓発を実施する。 加えて、次世代の女性リーダーを育成するため、大学の知見を活かした研修プログラムの実施など、産学官連携による女性の活躍推進に取り組んでいく。	